

町長の日記

15年8月15日(金)

昭和20年の今日、当別神社のお祭りで余興のサーカスを見ていた時、突然偉そうな人がステージに立って、皆んな急ぎ家に帰るようにと云われた。8歳の私に日本が戦争に負けた事がわかった瞬間だった。

母が私たち子供4人を馬車に乗せて当別神社から獅子内の自宅まで帰ってきたが、今考えると母は余興が中止になった割に喜んでいたのである。

あれから半世紀以上の歳月が過ぎて、新生日本は北海道から沖縄まで国土の「均衡ある発展」をめざして当別も随分発展した。

子供の頃、墓地へ行った時には、戦死した軍人の階級を刻んだ墓碑が沢山あったと思ったが最近殆ど見当たらなくなったような気がする。家が豊かになって墓を建て替えた時にはあえて刻まなかったのだろうか。

私の父も、53年の生涯で、軍隊時代の11年間がおそらく人生で一番真剣に生きた時だったと思うが、墓碑に「25連隊で勇敢な将校だった」とも記せず、成就しなかったけれど晩年農協の組合長に推されていた頃の父を思い出す。

戦後50年経ち戦争での功績が偲ばれる時代ではなくなってしまった。同じ戦後に出来た行政制度も疲労を起こしているのは確かである。これからは地域間で競争して「個性のある発展」をめざす時代と云うが、この町が今までの50年の様にこれからの50年も発展し続ける事を考える為に、8月12日当別月形新篠津任意合併協議会の第一回の会議が開かれた。この次は月形町で9月5日に第二回の会議を開き、もし合併したら新しい町の名前をどうするか。役場はどこにするか。などを話し合う予定であるが、日本中に改革が迫っているのは確かである。今年のお盆は私にとって8歳の時以来の大変革の時の様に思う。

当別町長 泉 幸彦

救急の心得

急病や交通事故などの急な事態が発生したとき、あなたは冷静に対処することができますか？これから先、救急車を呼んだり、到着までの時間を応急手当する事態に遭遇しないとは限りません。救急時の対処について正しい理解と認識を深めましょう。

- 救急車の呼び方**
- 平成14年の当別町の救急出動件数は677件で、653人を病院に搬送しています。救急車を呼ぶときは、慌てずはっきりと状況を説明しましょう。
- 1 救急であることを伝える。
 - 2 出動の場所(住所)や目印になる物を告げる。
 - 3 けが人、病人の様子をしっかりと伝える。
 - 4 自分の氏名、使っている電話番号を告げる。
- また、携帯電話からの119番通報は、直接所管の消防署につながらないため、当別消防署☎013323-2537にかけましょう。



- 応急手当の方法**
- 救急車が通報後に現場に到着する際には、全国平均で5〜6分です。しかし、脳が酸素なしで生きられる時間は3〜4分と言われています。救急車が現場に到着するまでに、人工呼吸や心臓マッサージなど適切な処置をすることで、大切な命を救うこともできます。
- 1 安全な場所へ 事故の場合は、平らで安全な場所へ移動させる。
 - 2 意識を確認 「もしもし」「大丈夫ですか」と呼びかけ、肩を軽くたたき、意識があるかを確認する。
 - 3 気道を確保 片手を額に当て、もう片方の手であごを少し持ち上げ気道を確保する。
 - 4 呼吸を確認 気道を確保したま

- 5 人工呼吸 呼吸がない場合は、人工呼吸で肺に空気を吹き込む。2回やって、体が動くか、せきをするかを確認する。
 - 6 心臓マッサージ 呼吸が戻らなければ、心臓マッサージを15回、人工呼吸を2回する。この繰り返しを4回行い呼吸を確認する。確認できない場合は、救急隊が到着するまで、心臓マッサージと人工呼吸を継続する。
- 万が一のときに備え、「救急講習」などを受講するよう心がけましょう。講習は、毎月第4日曜日の13時から当別消防署で行っています。詳細・問合せ 当別消防署警防課 救急係 ☎3 2537(まで)。

知っていますか？

私たちの生活に欠くことのできない水。いつ遭遇するかもしれない急病や交通事故。普段あまり意識することがない事柄ですが重要なことです。

今月は9日が『救急の日』、10日が『下水道の日』です。この機会に再認識してみませんか。

水の仕組み

私たちの水道は、当別川を水源として元町浄水場で清浄で安全な飲料水とするため、さまざまな浄水処理工程を経た後、各家庭に配水しています。また、お風呂・台所・トイレから排出される汚水は、下水道管をとり当別下水終末処理場で、微生物を使いきれいにした後、再び当別川に放流しています。

上水道は当別町のほぼ全域で使用され、下水道の処理区域内人口に対する水洗化率は約92%と高水準です。

このように私たちの生活をささえる水の仕組みを説明しましょう。

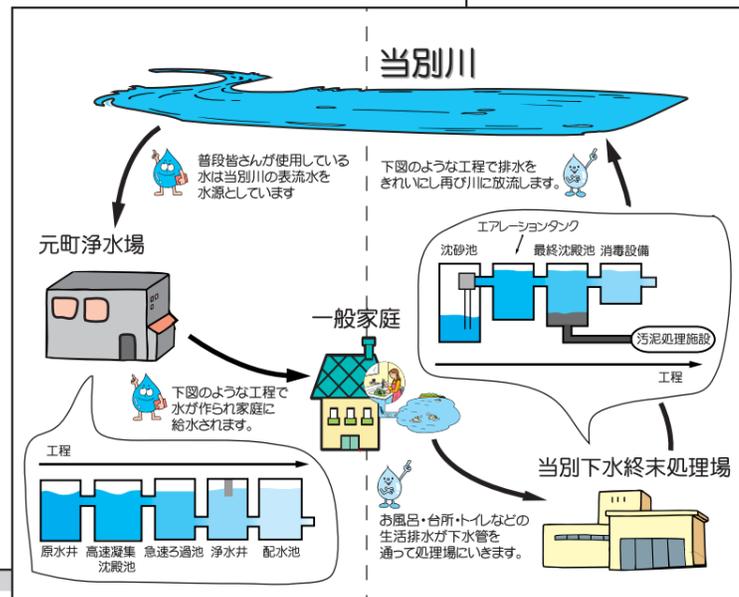
上水道

一家庭あたり1カ月の水道料金は平均3,410円(15t)ですが、これは石狩管内平均の約3,000円より高くなっています。その理由として当別町は面積が広く、水道水を供給する配水管も当然長くなり、水道管の維持管理や更新にも多額の経費を必要とします。

上水道経営は法律により独立採算制になっていて、水道料金、起債(国からの借金)などを財源にまかっています。

- これらの財源は、
- ◎安全で良質な水を作るための費用
 - ◎浄水場や配水管などの古くなった施設を整備・更新するための費用
 - ◎漏水防止のための費用

などに充てられます。最近の経営状況は、支出に占める起債の返済額が大きくなり、ひっ迫しています。水道事業は、今後とも経費節減をはかり、健全経営に努めてまいります。



下水道

下水道使用料の1カ月の全道平均は、一家庭あたり約20tで2,964円ですが、これと比較して当別町は2,310円と安価になります。

下水道事業の財源は、下水道使用料、国からの補助金、起債(国からの借金) 受益者負担

金、一般会計繰入金(町の援助)などで、これらの財源は、

- ◎川や海の水質を守るため各家庭からの汚水をきれいにし川へ戻すための費用
- ◎まだ下水道管が入っていない場所に、新しく入れるための費用
- ◎下水道管の清掃、古くなった機械等を直すための費用

などに充てられます。最近の経営状況は水道事業と同様に、起債の返済額が大きくなり、とても苦しい状況です。

また、これからは古くなった下水道管の補修など、維持管理の割合が大きくなり、多額の経費が必要となります。

水は限りある貴重な資源です。一人ひとりが無駄をなくし、有効利用することで節水に努め、下水道にはゴミや油を流さないよう心がけましょう。

